

IWC2026「SAKE 部門」審査会等のひろしま開催結果について

1 要旨・目的

International Wine Challenge (IWC) 2026「SAKE 部門」審査会等のひろしま開催について、次のとおり報告する。なお、今回の審査会には過去最多となる1,738 銘柄が出品され、そのうち、本県からは、昨年の11 蔵元に対し今年約3 倍増の32 蔵元等（うち1 は酒販店）が出品し、地元開催の効果も顕著であった。

2 審査結果等

「SAKE 部門」には11 の部門があり、それぞれの部門ごとに金メダル・銀メダル・銅メダルが複数の銘柄に授与される。さらに、金メダル受賞銘柄の中から最も優れた1 銘柄に「トロフィー」が選定された。県産日本酒の受賞結果は、次のとおりであった。

(1) トロフィー受賞酒（1 銘柄）

部門	銘柄	受賞者
フレーバー酒の部	三谷春 梅酒 潤	林酒造株式会社

(2) 金賞受賞酒（6 銘柄）

部門	銘柄	受賞者
純米の部	賀茂金秀 特別純米	株式会社金光酒造
純米の部	特別純米 雨後の月 十三夜	相原酒造株式会社
古酒の部	旭鳳 大吟醸 雄町 大古酒 1992 年醸造	旭鳳酒造株式会社
熟成酒の部	花モ酔ウ 長期熟成純米酒（1988 年醸造） ※地域トロフィー受賞酒（トロフィーの次に位置する賞）	花酔酒造株式会社
熟成酒の部	老亀 黄龍 20 年熟成純米酒	小野酒造株式会社
フレーバー酒の部	三谷春 梅酒 潤	林酒造株式会社

(3) その他

9 月にロンドンで開催される授賞式において、当審査会で選定された11 部門のトロフィー受賞酒の中から、「SAKE 部門」の最高賞である「チャンピオン・サケ」が発表される。

3 関連イベントの実施状況

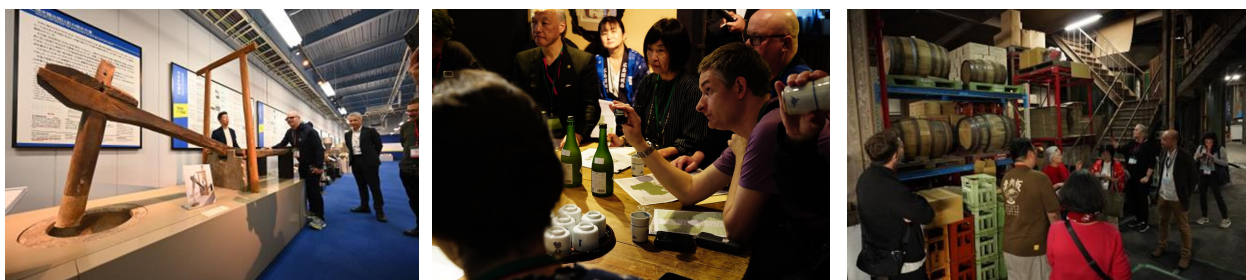
(1) 歓迎レセプション等（5月17日／東広島市）

21 の国と地域から参加した IWC 審査員及び関係者に対し、県産日本酒や広島の魅力（食・観光）を広く発信するとともに、審査員と蔵元との交流を促進した。



(2) IWC 審査員視察ツアー (5月21日/呉市・竹原市・東広島市)

IWC 審査員等を対象に、県内酒蔵・酒類研究所及び株式会社サタケ等を訪問する視察ツアーを実施し、県産日本酒に関連する文化や歴史等の理解を深めた。



(3) 受賞酒発表会等 (5月22日/広島市)

IWC 関係者・県内蔵元・実行委員会関係者・メディア等を対象に、金賞受賞酒の試飲会や IWC2026 「SAKE 部門」の受賞 (トロフィー・特別賞) の発表会及びメディアインタビューを実施した。



(4) 県民等が参加できる日本酒試飲会

(広島市・呉市・三原市・福山市・庄原市・東広島市・安芸高田市・安芸太田町・東京(TAU))

県民や観光客等を対象に、県産日本酒や審査会出品酒を気軽に楽しんでいただける試飲会を実施するとともに、広島・西条が三大酒処の1つであり多彩な酒があること等を周知した。※ 2市町は今後実施



4 広報宣伝効果

427,535 千円 (新聞・雑誌等 : 39,813 千円(50 媒体)、テレビ・WEB 等 : 387,722 千円(615 件))

※同業同種の広告料金等を参照するなどし、個別に広告換算 (6月18日時点)

5 IWC2026 「SAKE 部門」ひろしま開催実行委員会の構成団体

実行委員会 構成団体 (16 団体)	広島県酒造組合、広島県、広島市、呉市、竹原市、三原市、福山市、三次市、庄原市、東広島市、安芸高田市、府中町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、神石高原町
--------------------------	--

6 予算

51,358 千円 [令和7年度9月補正予算 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用]

(審査会運営や実行委員会主催の一般消費者向けイベント等を負担)